

平成21年5月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年10月10日

上場会社名 サイバーステップ株式会社
 コード番号 3810 URL <http://www.cyberstep.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月14日

(氏名) 佐藤 類
 (氏名) 今坂 るみ

TEL 03-5465-1500

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第1四半期の業績(平成20年6月1日～平成20年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	198	—	△178	—	△175	—	△210	—
20年5月期第1四半期	222	△6.7	41	△62.8	35	△65.3	22	△61.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第1四半期	△10,467.28	—
20年5月期第1四半期	1,056.83	1,009.28

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年5月期第1四半期	1,026	599	57.5	29,670.34
20年5月期	1,090	832	76.3	40,877.77

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 590百万円 20年5月期 825百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年5月期	—	—	—	—	—
21年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	356	—	△79	—	△89	—	△53	—	△2,454.06
通期	1,200	133.2	100	—	80	—	48	—	2,264.25

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年5月期第1四半期	21,755株	20年5月期	21,755株
② 期末自己株式数	21年5月期第1四半期	1,859株	20年5月期	1,570株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年5月期第1四半期	20,116株	20年5月期第1四半期	21,527株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おください。

なお、業績予想については3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報 をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱や、原油・原材料の高騰、株価の低迷などを背景とし、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、生活関連商品の値上げによる家計への圧迫感から個人消費についても回復の兆しが見えない状況が続いております。

さらに、わが国のゲーム業界においては、オンラインゲーム市場の拡大は続いているものの、一方では事業再編の動きが活発化し、今後、国内外のゲームメーカー、あるいは異業種との統合や提携などのさまざまな動きが出てくる可能性も否めません。

このような経済状況のもとで当社は、創業時から一貫して単独で国際競争力のあるオンラインゲームの開発を続け、海外各国の運営会社との協力関係を深めながら、日本を含め広く12カ国地域のユーザーの皆様へ魅力あるゲームを楽しんでいただいております。

当第1四半期には初めてヨーロッパにおける第一歩としてオランダのGame Capital B.V. 社との『ゲットアンブド』ライセンス契約を締結するなど、ライセンス供与先である海外各国の運営会社との連携を図りながらユーザー数を拡大し、合計ユーザー数は平成20年9月30日現在で2,600万人を超えました。

しかしながら、既存ゲームタイトルはロングヒットではあるものの、主にアジア市場においては売上が減傾向にあり、また日本市場においても期待していた売上を獲得できておりません。当下期においては新規ゲームタイトル『ゲットアンブド2』『コズミックブレイク』の国内サービス及び海外サービスの開始による収益獲得力の回復を見込んでおりますが、当第1四半期会計期間においては、ロイヤリティ売上高は156百万円、自社運営売上高は42百万円、合計で198百万円となりました。

これに対し、当第1四半期会計期間は、当下期に予定されている新規ゲームタイトルのサービス開始に向けた人的・物的投資を積極的に行っており、人件費、外注費、販促費、研究開発費の著しい増加により販管費が増加いたしました。この結果、営業損失178百万円、経常損失175百万円、税引前四半期純損失175百万円となりました。

海外からのロイヤリティ収入にかかる外国税額について控除しきれない金額が発生したため、法人税等を35百万円計上し、最終的に四半期純損失は210百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は1,026百万円であり、前事業年度末に比べて63百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金の減少（122百万円）、有形固定資産の増加（28百万円）であります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は426百万円であり、前事業年度末に比べ168百万円増加しております。主な要因は、前受金の増加（163百万円）であります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は599百万円であり、前事業年度末に比べ232百万円減少しております。主な要因は、自己株式の増加（24百万円）、利益剰余金の減少（210百万円）であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ104百万円減少し、525百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における営業活動の主な収入は前受金163百万円であります。

主な支出は、法人税等の支払額35百万円であります。

税引前四半期純利益は△175百万円であり、未払費用が20百万円増加いたしました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、46百万円の支出となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における投資活動の支出は、主として有形固定資産の取得による支出35百万円であり、この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは36百万円の支出となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間における財務活動の支出は、自己株式の取得による24百万円であり、この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは24百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間においては、新規ゲームタイトル『ゲットアンブド2』『コズミックブレイク』にかかる諸費用等がサービス開始に先行して発生し、営業損失を計上しておりますが、新規ゲームタイトルの開発は予定通りに進捗しております。

したがって、現時点においては平成20年7月15日公表の業績予想に変更はありません。

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、様々な要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社の業績を大幅に変動させる、あるいは、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクには、以下のようなものがあります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

新規ゲームタイトルがヒットしなかった場合のリスク、自社運営サービスが思うように進められなかった場合のリスク、ユーザーの個人情報に関するリスク、システム障害に関するリスク、人材の確保に関するリスク

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

有形固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用しているため、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当社は、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用し、最終仕入原価法から最終仕入原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、当該会計方針を適用すべき会計事象が存在しないため、当該変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年8月31日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617,786	740,265
売掛金	85,960	86,347
貯蔵品	1,374	751
その他	79,547	49,323
流動資産合計	784,668	876,688
固定資産		
有形固定資産	101,649	72,735
無形固定資産	10,213	9,347
投資その他の資産	130,020	131,290
固定資産合計	241,883	213,374
資産合計	1,026,552	1,090,062
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,264	9,188
未払法人税等	132	196
前受金	311,533	147,637
その他	107,992	100,939
流動負債合計	426,922	257,962
負債合計	426,922	257,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,895	334,895
資本剰余金	324,895	324,895
利益剰余金	137,956	348,516
自己株式	△207,425	△183,188
株主資本合計	590,321	825,117
新株予約権	9,308	6,981
純資産合計	599,629	832,099
負債純資産合計	1,026,552	1,090,062

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)
売上高	198,543
売上原価	39,147
売上総利益	159,395
販売費及び一般管理費	337,945
営業損失(△)	△178,549
営業外収益	
受取利息及び配当金	564
為替差益	2,726
その他	136
営業外収益合計	3,427
営業外費用	
その他	298
営業外費用合計	298
経常損失(△)	△175,420
特別損失	
固定資産除却損	102
特別損失合計	102
税引前四半期純損失(△)	△175,522
法人税、住民税及び事業税	35,037
法人税等合計	35,037
四半期純損失(△)	△210,559

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△175,522
減価償却費	8,481
長期前払費用償却額	1,269
株式報酬費用	2,327
受取利息及び受取配当金	△564
為替差損益(△は益)	△3,101
固定資産除却損	102
売上債権の増減額(△は増加)	387
たな卸資産の増減額(△は増加)	△622
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,924
前受金の増減額(△は減少)	163,895
未払費用の増減額(△は減少)	20,688
その他の資産の増減額(△は増加)	△12,092
その他の負債の増減額(△は減少)	△15,315
小計	△11,990
利息及び配当金の受取額	553
法人税等の支払額	△35,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	△46,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△35,147
無形固定資産の取得による支出	△1,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△24,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△104,427
現金及び現金同等物の期首残高	630,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	525,837

当第1四半期会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年 5 月期 第 1 四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	222,093
II 売上原価	51,815
売上総利益	170,277
III 販売費及び一般管理費	128,427
営業利益	41,849
IV 営業外収益	1,131
V 営業外費用	7,849
経常利益	35,131
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税引前四半期純利益	35,131
税金費用	12,381
四半期純利益	22,750

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年 5 月期 第 1 四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第 1 四半期純利益	35,131
減価償却費	24,310
株式交付費	18
受取利息及び受取配当金	△557
有価証券利息	△574
為替差益	6,986
売上債権の減少額	5,508
たな卸資産の増加額	△2,040
仕入債務の増加額	1,393
未払費用の減少額	△6,641
その他の資産の増加額	△7,316
その他の負債の減少額	△304
小計	55,913
利息及び配当金の受取額	583
法人税等の支払額	△35,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,212
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△8,774
無形固定資産の取得による支出	△36,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,753
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の処分による収入	982
財務活動によるキャッシュ・フロー	981
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,986
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△30,545
VI 現金及び現金同等物の期首残高	368,274
VII 現金及び現金同等物の期末残高	337,729